

平成30年度第4回浦安市行政改革推進委員会 会議録

○日 時／平成 31 年3月 22 日(金) 15:00～15:45

○場 所／市役所9階 第2委員会室

○出席者／寺村委員、深谷委員、李委員、根津委員、岩田委員、宮川委員、男全委員

○事務局／佐藤総務課長、斎藤行政改革推進室長、久木主任主事、平石主事

○傍聴者／1名

○議 題／1. 浦安市行政改革大綱の策定について
2. 事業点検結果について

1. 開会

2. 議題

議題1 浦安市行政改革大綱の策定について

パブリックコメントの結果について報告した後、行政改革大綱（案）の内容について、事務局説明を行い、意見を伺った。

委 員： 職員の育成に関連して、異動で担当者が変わると業務の引継ぎが不十分で非効率が生じるという経験をしたことがある。浦安市ではそのようなことが生じていないか。引継ぎは、業務を円滑に進めるために重要である。

事務局： 業務を円滑に継続していくうえで、引継ぎを行うことは重要であるため、十分な引継ぎが為されるよう、努めていきたい。

委 員： 前回の綱との違いや踏襲したものについて確認したい。

事務局： 本行政改革大綱の位置づけが、大局的、長期的視点を持つものであることを明記した。また、行政改革大綱と行政運営刷新計画及び総合計画との関係性を整理している。加えて、5つの行政資源を活用することで、本市のまちの魅力を向上させていくことについて書き込んだ。以上の3つが前回大綱との大きな違いである。

踏襲した点としては、改革の方向性の中で記載している、最少の経費で最大の効果を挙げることについて記載した点がある。

さらに、今回の大綱では経費削減だけでなく、行政改革に取り組みながらまちの魅力を向上させるという観点も盛り込んでいる。

委員： 本大綱策定後に、市としてはどのように取り組んでいくのか。

事務局： 大綱は大局的、長期的なものである。短期的でより具体的な行政改革の取り組み内容については、行政運営刷新計画の中で位置付けて進めていく。

議題2 事業点検結果について

事業点検の趣旨、点検の範囲、結果報告等について事務局説明をした後、意見を伺った。

委員： リノベーションによるまちの魅力の向上や、経費を削るだけでなく必要な部分には予算を付けるというのは納得感がある。点検の過程でやり方を変えれば効果があがるという事業などがあつたか。

事務局： 福祉の事業の中でももう少し効率よく事業が行えるものが確認でき、事務改善の必要性を指摘している。

委員： 財政的に余裕のある浦安市こそ、ICT、AI を使った業務改善も考えていくといいのではないか。

委員： 点検結果の評価について、どのように捉えているのか。かなり削減したのか、それとも、もっと削減できるという認識か。また、今後のスケジュールを教えてください。

事務局： 今年度、休止廃止となったもので予算を付け替えたものも少なくない。例えば、幼稚園への運営補助については、補助金ではなく、予算として支出するようにしたものがある。また、来年度に見直しを行うものもあることから、しっかりとした形で結果が出るのは来年度になると考えている。来年度は行政資源活用の残りの視点から、事業点検を実施する。加えて、今年度の点検結果から、見直しするものについて担当課と連携して進捗管理を行っていく。

委員： 廃止・休止となった事業でも、他の部分で補完されているという理解でよいか。

事務局： 他の部分で補完されているものもあるが、街灯補助金のようにその役割を終えたと判断して廃止としたものもある。

委員： 市民にはどのような形で事業点検の結果を伝えるのか。

事務局： ホームページで点検結果及び点検の基礎資料で使用了調書を公開する予定である。

委員： 市民が活用したいが、存在が認識されていない補助金もあるのではないか。ホームページで伝えるだけでなく、必要な人に届くような形で周知する必要がある。

事務局： 手当の廃止などは、今回の結果ですぐ廃止となるわけではなく、次年度に検討していく。
また、必要な情報が必要な人に届くよう、担当課において周知を図っている。

委員長： 今年度、浦安市では、行政改革の一環として、全事業を範囲に事業点検を行った。また、17年ぶりに新たな「行政改革大綱」を策定したことで、浦安市の行政改革がより一層加速していくことと思う。
今後、社会情勢や財政状況の変化もあることと思うが、現在の浦安市の行政サービスが維持向上していけるよう、引き続き行政改革に取り組んでいただきたい。

3. 閉会

(15時45分時終了)